

分科会評価報告書（平成27年度決算）

（総務生活分科会 No.3）

(所管課, 事業コード) 事業名	(市民活動支援課 5501) 国際交流関係事業 ※P599			
評価	2	1 拡充	② 継続	3 改善
		4 縮小	5 休止	6 廃止

【必要性】

<目的の妥当性, 行政が行う必要性>

鹿嶋市も国際化の進展により多くの外国人が居住し地域生活をともにしており, また, 将来を見通した市民の国際感覚の醸成や子供たちの国際社会への適合を図るためにも必要不可欠な事業である。

【効率性】

<効果と費用等との関係>

国際交流協会をはじめとする関係6団体の活動は, 公益性のある活動を多く実施しながら, 厳しい財政環境のなか自立した運営を行っている。姉妹都市交流事業については, 国庫補助金の活用等により, 市内高校生との交流など成果があるものの, 今後については事業設計を精査し, 多くの市民への波及効果がある事業への変革が求められる。

【有効性】

<得ようとする効果と得られている効果との関係>

市内在住の外国人は800名を超え, まちづくりへの参画に積極的であり, 成果が十分見られる。また, 国際交流協会などの関係団体の努力により, 在住外国人の心のケアも含めた安心安全な生活支援にも寄与している。姉妹都市交流においても, 長年の継続により, 中高校生を中心とした国際交流実績はあるものの, 一過性に終わらない身近な交流となるような検討が必要である。

【評価説明】

国際交流協会をはじめとする関係団体の努力による会員加入は行っているものの, 協会独自での広報活動には限界があり, 財政的にも自立した運営に向けた行政支援は必要である。また, 事務局の機能強化を図るためにも, 関係団体の統合も視野に入れた取り組みも検討する必要がある。

以上のことから, 本分科会としては「継続」とする。